

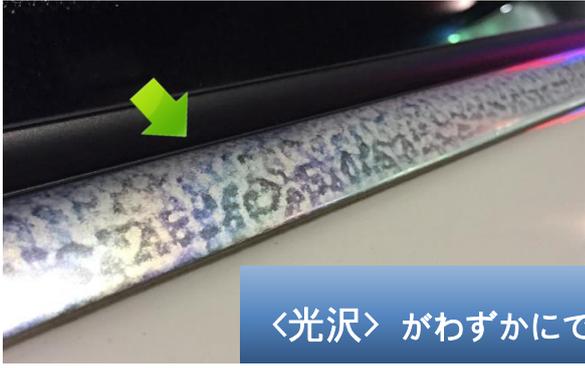
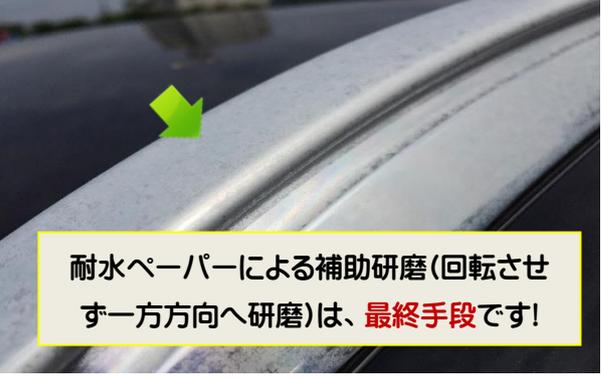
※ 真っ白く水和酸化したモールに関する施工手順のご案内です。参考にしてください

全ての 施工リスクは **自己責任** でお願います。

全面が白く水和酸化し、完全に研磨できない場合は(※施工部分を水で濡らして鏡面だと)、**ガラスメッキを施工**すると**鏡面仕様**になります !!

《注》「耐水ペーパー」の補助施工は最終手段で、二度と研磨できなくなります。

鏡面研磨剤 **ボルトン10** 施工図式手順 **必ず、目立たない箇所でテストしてから施工して下さい。**

<p>参考状態①↓ このレベルであれば研磨できます</p> 	<p>参考状態②↓ これでギリギリ研磨できるレベル</p> 
<p><光沢> がわずかにでも残っている状態が、限界</p>	
<p>参考状態③↓ こうなると「モアレ縞」が残ります</p> 	<p>参考状態④↓ ルーフは劣化し易い構造と仕様</p> 
<p>参考手順↓ 集中して研磨し、水を掛けて確認!!</p>	<p>手順↓ 薄く残った上からガラスメッキを施工します</p>
<p>水を垂らして「モアレ縞」が視えなくなれば、ガラスメッキを施工</p>  	

- ※ 木材のフシにカンナをするのと同じで、耐水ペーパーをしてもモアレ縞は完全には取れませんのでご留意を。
- ※ 99T溶剤は分量で、塗布直後に付属のクロスを湿らせてイッキに真っ直ぐ拭き取ります。(複数回施工がお勧め)
- ※ 15秒以上拭き取りし過ぎて白固化した場合や、乾燥前に触れてしまった場合、パーツクリーナーで成分除去します。
- ※ 部厚めに一度で塗りムラなく塗布できた場合、そのまま乾燥させます
- ※ 炎天下・火気環境・雨の中での作業はしないで下さい。常に換気しながら作業をして下さい。